

メディカルタイムアウトについて

(一社)福島県バスケットボール協会U15カテゴリー部会

新型コロナウィルス感染症予防と熱中症予防の観点から、「福島県U15バスケットボール選手権大会」において「メディカルタイムアウト」を導入します。選手もTOも、この特別ルールをきちんと理解して正しく実施しましょう。

メディカルタイムアウトとは、試合の途中に30秒間のタイムアウトをとって、「手指消毒」「汗を拭く」「水分補給」を行うものです。このメディカルタイムアウトは、普通のタイムアウトとは異なるものですので、コーチが作戦等を指示する時間ではありません。しっかりと、選手・審判・TO等が「手指消毒」「汗を拭く」「水分補給」を行ってください。

【メディカルタイムアウトのルール】

- すべてのクォーターで、4分が経過し、ボールがデッドになったら、自動的に30秒間のメディカルタイムアウトになります。

- メディカルタイムアウトは、どちらのチームのタイムアウトにも数えません。

- オーバータイム（いわゆる延長戦）ではメディカルタイムアウトはとりません。

〈TO（テーブルオフィシャルズ）〉

- スコアラーとタイマーが協力して、メディカルタイムアウトの時期が来たらブザーを鳴らし、右図の合図をして、選手と審判に伝えてください。

- ストップウォッチ等で30秒を計ったら、再開のブザーを鳴らしてください。20秒で予鈴を鳴らす必要はありません。

- スコアシートにメディカルタイムアウトを記入する必要はありません。

- TOも「手指消毒」「汗を拭く」「水分補給」をしてください。

〈チームや選手〉

- 選手はベンチに戻って、「手指消毒」「汗を拭く」「水分補給」をしてください。

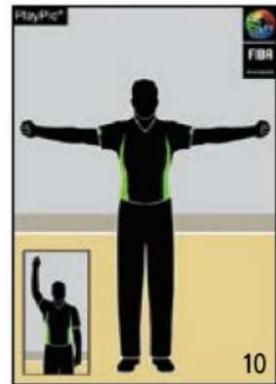
- 30秒のブザーが鳴ったら、速やかに試合が再開できるように協力してください。

- 審判も「手指消毒」「汗を拭く」「水分補給」をしているので、審判への質問等は行わないでください。

〈審判〉

- 審判も「手指消毒」「汗を拭く」「水分補給」をしてください。

- TOからメディカルタイムアウトを知らされたら、審判も右上図の合図を行って、選手やチームに伝えてください。



握りこぶしで腕を広げる

【メディカルタイムアウトに関するQ&A】

Q：ボールがデッドの状態って何ですか？

A：バイオレーションやファウル等で、審判の笛が鳴り、ゲームクロックが止まった状態です。また、ゲームクロックは止まりませんが、シュートが入ったときもボールがデッドの状態です。つまり、普通のタイムアウトがとれるタイミングと同じです。

Q：普通のタイムアウトの請求とメディカルタイムアウトの時期が重なったら、どうしたらいいですか？

A：メディカルタイムアウトを優先してください。その後、普通のタイムアウトが必要かどうか、請求したチームに審判が確認してください。もし、チームが不要であれば、普通のタイムアウトの請求を取り下げてください。

Q：ちょうど「4：00」でゲームクロックが止まりました。メディカルタイムアウトは、とれますか？

A：とれます。タイマーの表示が「4：00」の状態を含みます。

Q：ゲームクロックが「4：02」でシュートが決まり、スローインをする前に「4：00」になりましたが、メディカルタイムアウトはとれますか？

A：とれません。シュートが決まったときに「4：00」を経過していなければ、メディカルタイムアウトはとれません。

Q：メディカルタイムアウト中に交代はできますか？また、メディカルタイムアウト後に、続けて通常のタイムアウトをとることはできますか？

A：交代できます。続けてタイムアウトをとることもできます。

Q：うっかりメディカルタイムアウトをとり忘れてしまいました。どうしたらいいですか？

A：次のタイミングでメディカルタイムアウトをとってください。また、そのようなことの無いようにTOと審判とで協力しましょう。TOと審判とで協力しましょう。